

## 子育て支援に関するアンケート調査 ～ご記入にあたって～

- ご回答は、できるかぎり封筒の宛名のお子さんの保護者の方にお願ひしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようよろしくお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- 時刻を記入するところでは、当てはまる時間を、24時間表記で記載してください。  
(例) 9時～18時, 17時まで
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、  
10月31日(木)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

※なお、平日以外にも説明させていただきますので、お気軽にお越しください。

日時：10月26日(土) 18時30分 から 20時00分 まで

場所：上宮川文化センター(芦屋市上宮川町10番5号)

10月27日(日) 9時30分 から 11時00分 まで

場所：保健福祉センター(芦屋市呉川町14番9号)

【お問い合わせ】芦屋市こども・健康部こども政策課 電話：38-2180 FAX：38-2190

## To those who need English translation

(英語の翻訳を必要とする方へ)

This survey is not obligatory. Translated questionnaires have been prepared. So if you cooperate this survey, please send an E-mail to the following address. Thank you.

E-mail : [kodomoseisaku@city.ashiya.lg.jp](mailto:kodomoseisaku@city.ashiya.lg.jp)

## アンケート調査票に使われている用語の定義

**子 育 て** : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援

**教 育** : 家庭での教育を含めた広い意味で用いています





お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業，家族従事者含む）をうかがいます。

（１）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号１つに をつけてください。

1. フルタイム（１週５日程度・１日８時間程度の就労，以下同様）で就労している	【(1)-1へ】
2. フルタイムで就労しているが，産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労，以下同様）で，就労している	
4. パート・アルバイト等で就労しているが，産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが，現在は就労していない	【(2)へ】
6. これまで就労したことがない	

（１）- 1 （１）で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。  
就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり \_\_\_\_日      1日当たり \_\_\_\_時間

家を出る時間 \_\_\_\_時      帰宅時間 \_\_\_\_時

（２）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号１つに をつけてください。

1. フルタイムで就労している	【(2)-1へ】
2. フルタイムで就労しているが，育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労している	
4. パート・アルバイト等で就労しているが，育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが，現在は就労していない	【問11へ】
6. これまで就労したことがない	

（２）- 1 （２）で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」，1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」，「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。  
就労日数や就労時間が一定でない場合は，もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は，休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり \_\_\_\_日      1日当たり \_\_\_\_時間

家を出る時間 \_\_\_\_時      帰宅時間 \_\_\_\_時



問 11 **問 10 の (1) または (2) で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。**該当しない方は、問 11 へお進みください。  
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 12 **問 10 の (1) または (2) で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。**該当しない方は、問 12 へお進みください。  
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号それぞれ 1 つに をつけ、該当する \_\_\_ には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが \_\_\_ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

- |   |   |   |
|---|---|---|
| [ | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム</li> <li>2. パートタイム, アルバイト等</li> </ol> | ] |
|---|---|---|

→1 週当たり \_\_\_ 日 1 日当たり \_\_\_ 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1 年より先、一番下の子どもが \_\_\_ 歳になったところに就労したい
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい

→希望する就労形態

- |   |   |   |
|---|---|---|
| [ | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フルタイム</li> <li>2. パートタイム, アルバイト等</li> </ol> | ] |
|---|---|---|

→1 週当たり \_\_\_ 日 1 日当たり \_\_\_ 時間



お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 13 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

- 1. あった ---▶【問 13 - 1へ】
- 2. なかった ---▶【問 14へ】

問 13 - 1 お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれのおおよその日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法	日数
1. 母親が休んだ	日
2. 父親が休んだ	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
4. 母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた	日
5. 病児・病後児の保育を利用した	日
6. ベビーシッターを利用した	日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
9. その他 ( )	日

【問 14へ】

問 13 - 2 **問 13 - 1**で「**1. 母親が休んだ**」「**2. 父親が休んだ**」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者料が発生し（別紙参照）、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- 1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 年間\_\_\_\_日
- 2. 利用したいとは思わない



お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 14 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	日
2. ベビーシッター（居宅訪問型保育：保育者が子どもの家庭で保育する事業）	日
3. 障がい児支援施設	日
4. その他（ ）	日
5. 利用していない	

問 15 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
ア 私用(買物, 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等, リフレッシュ目的)		日
イ 冠婚葬祭, 学校行事, 子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等		日
ウ 不定期の就労		日
エ その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。  
あった場合は当てはまる番号すべてに をつけ、この1年間のおおよその日数をご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア 親族・知人にみてもらった	泊
	イ 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設、障がい児支援施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	泊
	ウ イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊
	エ 仕方なく子どもを同行させた	泊
	オ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ その他（ ）	泊
2. なかった		

お子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします。

問 17 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごしていましたか。当てはまる番号すべてに をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

このアンケートで「学童保育」とは、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに指導員のもとで、授業終了後の生活の場を提供する公的なものをいいます。また、芦屋市では留守家庭児童会と呼んでいます。

1. 自宅	週（ ）日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	
4. 体育館や福祉センター等公共の施設	週（ ）日くらい	
5. 放課後子ども教室（校庭開放等）	週（ ）日くらい	
6. 留守家庭児童会（学童保育）	週（ ）日くらい	下校時から（ ）時まで
7. 民間の学童保育	週（ ）日くらい	
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい	
9. 障害児支援施設	週（ ）日くらい	
10. コミスク	週（ ）日くらい	
11. その他	週（ ）日くらい	

問 18 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）の放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい	
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい	
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい	
4. 体育館や福祉センター等公共の施設	週（ ）日くらい	
5. 放課後子ども教室（校庭開放等）	週（ ）日くらい	
6. 留守家庭児童会（学童保育）	週（ ）日くらい	下校時から（ ）時まで
7. 民間の学童保育	週（ ）日くらい	
8. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい	
9. 障害児支援施設	週（ ）日くらい	
10. コミスク	週（ ）日くらい	
11. その他	週（ ）日くらい	

問 19 **問 17 または問 18 で「6. 留守家庭児童会（学童保育）」と答えた方にうかがいます。**

土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期期間中に利用したいですか。当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

1. 土曜日に利用したい	_____時から _____時まで
2. 日曜日・祝日に利用したい ※芦屋市では現在実施していません。	_____時から _____時まで
3. 夏休み等の長期の休暇中に利用したい	_____時から _____時まで
4. 利用希望はない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について  
うかがいます。

問 20 子どもが原則 1 歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満 3 歳になるまでの  
育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、  
そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 21 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる  
番号 1 つに をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

( 1 ) 母親

1. 働いていなかった
2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない

取得していない理由 ( 当てはまる番号すべてに )

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所 (園) などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇 (産前 6 週間、産後 8 週間) を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ( )

( 2 ) 父親

1. 働いていなかった
2. 取得した (取得中である)
3. 取得していない

取得していない理由 ( 当てはまる番号すべてに )

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 保育所 (園) などに預けることができた
7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するため退職した
10. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. その他 ( )

問 21 - 1 **問 21 で母親または父親が、「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。  
なお、母親または父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えく  
ださい。**

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した |                     |
| 2. 現在も育児休業中である     | -----▶ 【問 21 - 8 へ】 |
| 3. 育児休業中に離職した      | -----▶ 【問 22 へ】     |

**問 21 - 1 で「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。**

問 21 - 2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。  
あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに をつけてください。

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった              |

「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」には、次の内容も含まれます。

- ・年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合
- ・年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合

問 21 - 3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お  
勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

実際の取得期間 ____歳 ____ヶ月	希望 ____歳 ____ヶ月
----------------------	-----------------

問 21 - 4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては  
お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

____歳 ____ヶ月
--------------

問 21 - 5 **問 21 - 3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。**

希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに をつけてくださ  
い。

(1) 「希望」より早く復帰した方

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入るため     | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他（                | ）                       |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所（園）に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため     | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてる人がいなかったため    |                           |
| 6. その他（                | ）                         |

問 21 - 6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つ  
に をつけてください。

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 利用する必要がなかった                |
| 2. 利用した                       |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 21 - 7 **問 21-6 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にかがいます。**

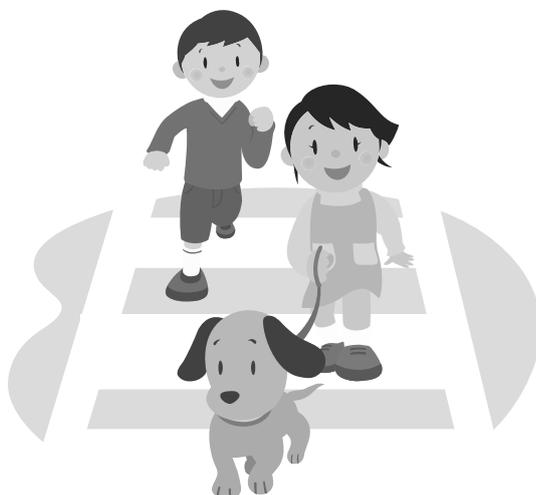
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4. 短時間勤務にすると保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ )

問 21 - 8 **問 21-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。**

お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい



すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 22 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つだけに をつけてください。

- |                   |                              |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | 2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい |
| 3. つらいと感じることの方が多い | 4. わからない                     |
| 5. その他 ( )        |                              |

問 23 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに をつけてください。

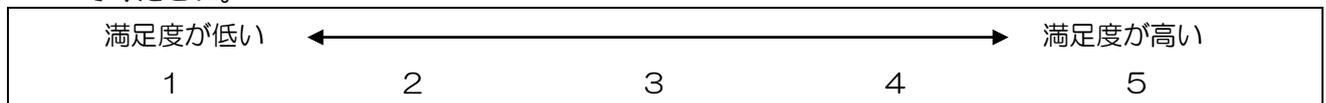
(1) 子どもに関すること

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 病気や発育発達に関すること          | 2. 食事や栄養に関すること     |
| 3. 子育て支援サービスのことがよくわからないこと | 4. 子どものしつけに関すること   |
| 5. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと     | 6. 子どもの教育・保育に関すること |
| 7. 子どもの友だちづきあいに関すること      | 8. 子どもの登校拒否や不登校など  |
| 9. 特にない                   | 10. その他 ( )        |

(2) ご自身に関すること

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと          |
| 2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと         |
| 3. 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと   |
| 4. ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること   |
| 5. 子育てに関して話し相手や相談相手がないこと        |
| 6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと |
| 7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと     |
| 8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと |
| 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと            |
| 10. 特にない                        |
| 11. その他 ( )                     |

問 24 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つだけに をつけてください。



問 25 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまでをつけてください。

1. 子育てに関する相談、情報提供の充実
2. 親子・親同士の交流の場の充実
3. 地域における子どもの居場所の充実
4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実
5. 子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実
6. 次代を担う子どもが家庭や子どもの大切さを学ぶことができる場の充実
7. 子どもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
8. 児童虐待やいじめ等に対する対策の充実
9. 障がいのある子どもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実
10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実
11. 教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実
12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実
13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善など、企業や労働者に対する啓発
14. その他（

)



